

町内会・自治会のデジタル化を 支援する取組について

～緑が丘一丁目北区町内会におけるLINE活用講座の試験的開催～

盛岡市総務部情報企画課

緑が丘一丁目北区町内会の概要

- 高松公園こがねパーク高松（旧盛岡競馬場）の西隣の小高い丘
- 現在約180世帯、高齢化が進む
- 元々は畑や果樹園だったが、昭和30年代から市街化が進む
- 教員をはじめ、サラリーマンが多い地区



緑が丘一丁目北区町内会の危機

- 平成20年代後半には、ずっと役員を担っていた方々が、次々と病気で倒れる
- 令和2年夏、これまで様々な業務を担っていた会長、元総務部長が相次いで倒れる
- これまで関わっていた人が集まり、会議を開いてみたものの、町内会活動の全容をわかる人がいない



町内会の危機！

新たな体制で再出発

1. 組織・目的の確認と執行体制の見直し

- 各部の役割、班長の役割を再確認
 - 従来やっていた行事を続けている一方、目的もわからなくなっていたものは、その都度改めて検討。年度替わりに組織も変更
- 役員はみんなで広く浅くやると決め、できる範囲でお互いに手伝うこととする →令和3年度から欠員なし
- 毎月1回、役員が執行部会議をし、会報で報告

2. 連絡体制を確認し、補強を模索

- ① 役員でグループメールを開始
- ② 会報を毎月各戸配布と回覧
- ③ 非常用 班長を通じた住民への連絡（普段は使わない）
- ④ SNSによる連絡手段も模索中

新しいコミュニケーション手段の検討

行事の中止などタイムリーにお知らせしたい
- SNSなどで、お知らせ掲示板がほしい

SNSなどでコミュニケーションの手段を増やしたい
- 新しい班長さんに電話してと会報で連絡したがこない
- 知らない人には電話しにくいかも？

公式LINEの導入による効果と課題

緑が丘一丁目北区町内会公式LINEを導入

効果

登録者とのコミュニケーションに役立っている

- ・2022年12月末に導入。1月号の会報でお知らせし、登録を依頼

(登録状況は、2023年4月末時点で29)

課題

管理者が利用方法をよくわからず活用できていない

- ・誰が登録者かわからない、メッセージ配信方法がよくわからない

町内会員の登録が伸びない

- ・スマホを持っていてもLINEの使い方がわからない、QRコードから登録の仕方がわからない

LINE活用講座開催によるデジタル化の支援

緑が丘一丁目北区町内会と情報企画課が共同でLINE活用講座を開催

課題	原因	必要な内容
<ul style="list-style-type: none">・管理者（役員）が利用方法をよくわからない・誰が登録者かわからない,・メッセージ配信方法がよくわからない・管理者の機能がわからない	LINEの使い方がよくわからない。	・役員を中心にLINEの使い方、メンバー管理及びメッセージの投稿など管理者機能を知ってもらう
<ul style="list-style-type: none">・町内会員の登録が伸びない	<ul style="list-style-type: none">・スマホを持っていてもLINEの使い方がわからない・QRコードから登録の仕方がわからない	・役員及びLINEの登録を行いたい町内会員を対象に、QRコードからの登録方法も含めLINEの使い方を知ってもらう

LINE活用講座の内容

7月3日（月）

スマホの基本とLINE グループ編

・グループ機能、公式LINEに関すること

時間：60分×2回

定員 各5名

7月12日（水）、19日（水）

スマホの基本とLINE 準備・応用編

【準備編】基本画面、友達を追加しよう

（招待・QRコード・検索モード）

時間：60分×1回

定員：5名

【応用編】メッセージを送ろう（トーク・グループトーク）

時間：60分×1回

定員：5名



（講師はソフトバンク(株)のスマホアドバイザー）

LINE活用講座による効果

役員のLINEグループを作り、情報共有がしやすくなった。

LINE公式アカウントの管理者を3人に増やすことができた。

複数の目で寄せられる情報に対応が可能になったことで、情報発信担当者の負担軽減になった。

緑が丘一丁目北区町内会のLINEグループの登録者数は、令和5年4月1日時点で21人だったが、講座実施後の7月19日時点で38人となり、17人の増加となった。現在も少しずつではあるが、登録者数は増え続けている。

今後の課題

町内会員に聞いてみると、スマホの所持率が、あまり高くないことがわかった。

全ての町内会員に情報を届けるためには、LINE(デジタル)と会報紙(アナログ)を併用で運用していく必要があることがわかった。

デジタル化に対応するための勉強会などの取り組みは、工夫しながら、継続的に取り組むべきと感じた。

まとめ

緑が丘一丁目北区町内会の課題

- ・町内会役員の高齢化などの影響により、新しい体制で町内会活動を検討する。
- ・コミュニケーションをより簡単に行えるように、公式LINEを立ち上げる。
- ・管理者の機能や登録方法などを知って、公式LINEをもっと有効に利用したい。



LINE活用講座の開催

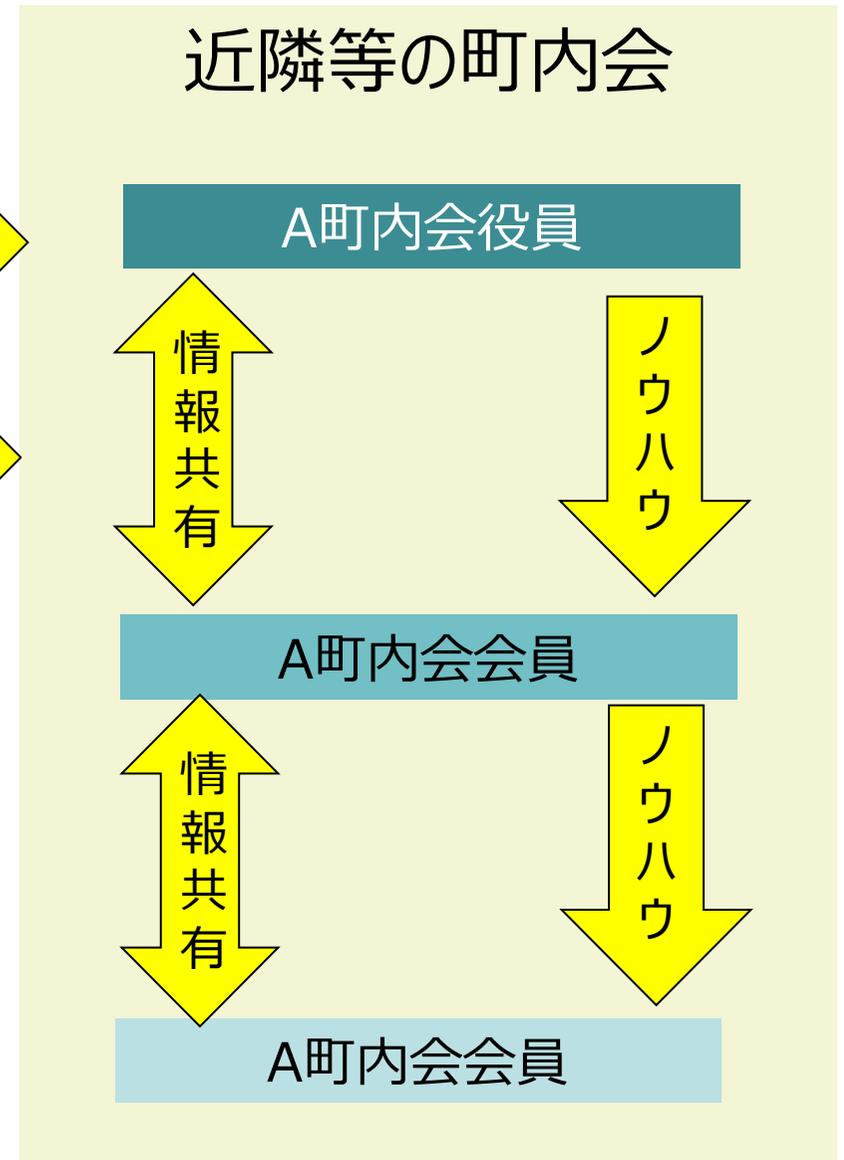
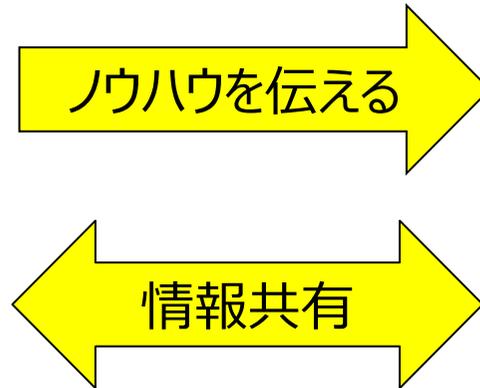
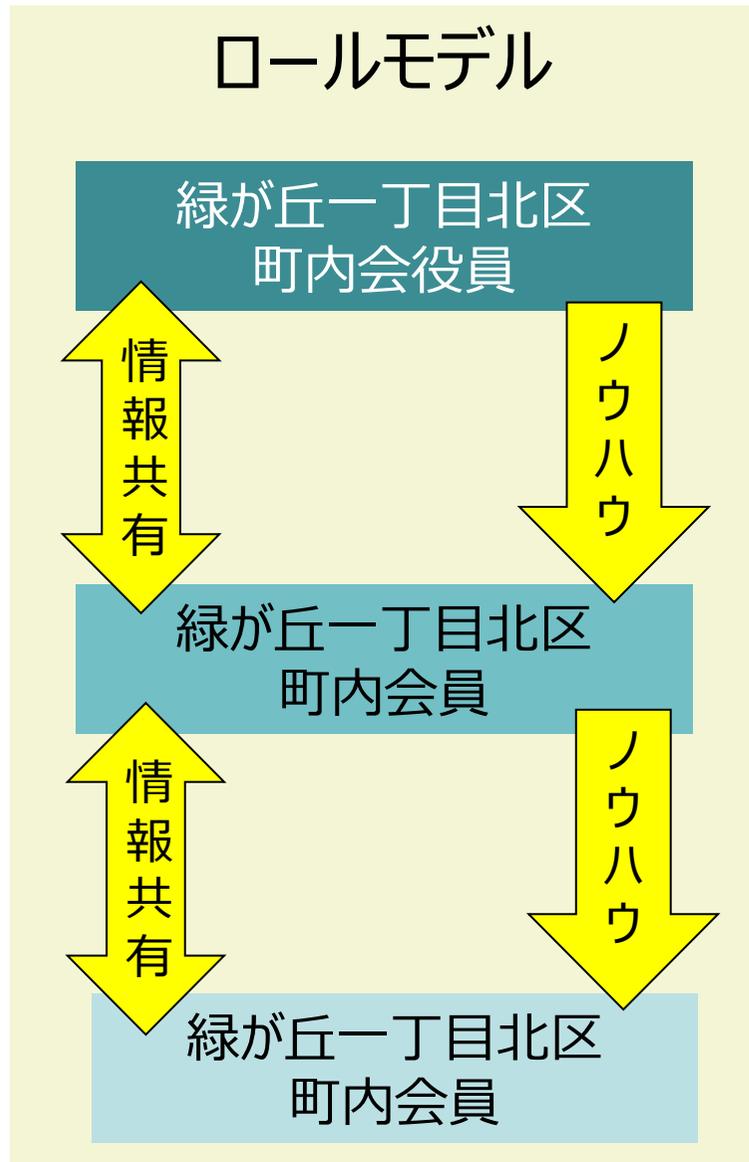
- ・役員向け：メンバー管理及びメッセージ投稿などの管理者機能について
- ・町内会員向け：LINEの基本操作、招待やQRコードによる登録方法などについて



効果

- ・受講した役員が管理者機能について、町内会員が登録方法について習得したことによって、LINEによる情報共有が進み、役員の負担軽減につながる。
- ・LINEの勉強会で参加者同士が顔見知りになる効果も期待できる。
- ・公式LINEがあることで、若者の地域への関心の醸成につながり登録者の増加や町内会への加入促進などにもつながっていく効果も期待できる。

今後の展開について



最後に・・・

「スマホの出前講座」を開催してみませんか。

町内会・自治会等の団体を対象に、無料でスマホの出前講座を開催しております。

開催を希望、または、検討してみたい団体の方はお問い合わせください。

- 対象：自分のスマホをもっと使いこなしたい方、
写真・地図・インターネット検索などのスマホの機能をもっと知りたい、
QRコードを読み込みみたい方、など

- 日程：平日（土日祝日除く）

- 場所：公民館や集会所等

- 時間：1コマ2時間（1日最大2コマ）

午前10：00-12：00、午後13：30-15：30



連絡先：盛岡市総務部情報企画課 鹿嶋
アドレス：joho@city.morioka.iwate.jp
電話：019-626-7514